

* 理研での作業

- * 小林(11/25-11/30)、高橋(11/25-11/29)、増子(11/25-11/28)
- * FDC2 架台
 - * 11/25 に吊具が予定より早く B2F へ搬入される(当初予定は 11/24->11/28->12/4)。
 - * 架台への釣具の取付 (11/28)
 - * これで、本体/配線終了後に架台全体を吊れる (はず)。
 - * サムライ下流へ仮設置(11/28-11/29)し、出口フランジとの関係を確認 (写真)。
 - * 最初、出口フランジ中心=架台中心とした。
 - * FDC2 移動範囲は、架台に対して約±730mm。
 - * 回転/周辺架台との関係で、出口フランジ中心—架台中心を南側へ約 160mm ずらす。
 - * 現在、出口フランジ下流- 架台上流支柱間隔は約 350mm。
 - * この値を増やそうとすると、架台全体を 200-250mm 下流に下げる必要がある (回転/周辺架台の隙間の為)。
- * 12/8-12/9 に、床への固定穴加工、シム調整を含む据付作業を予定 (三光)。
 - * 位置基準は出口フランジを基準にする予定。後で要測量。
 - * 現在の設定角度を 30 度として穴を開ける (いいですか?)。
 - * 固定穴は、最少、回転架台に 2 カ所、周辺架台に 2 (3) 箇所。
 - * 何度か回転した後の再現性： 0.05 度<->3mm @回転架台外周
- * 据付後は東下流側階段脇に移動し、本体設置、配線作業を行う：12/12 の週を予定。
- * 配線作業用に作業台を 1 台追加購入予定。
- * 全体を吊る為のスリング/シャックルについて相談中。(Arrange: 佐藤さん)。



SAMURAI/出口フランジとHODP (左)、FDC2 架台 (右)

- * HOD
 - * 調整範囲を広くした横バーの固定
 - * CI のやった遮光作業(片面 Al-Mylar、黒シート、テープ巻)を全てやり直し。

- * はみ出した接着剤が未除去。 シンチ/ライトガイド表面にテープが大量に直接張られている。片面 Al-Mylar の overlap 無/シート overlap 無しによる光漏、遮光テープ 5 重巻,, ,などを修正。
 - * 安全の為に、両面 Al-Mylar 1 重追加、シートをおらずに 2 重巻に変更
 - * HODP (PMT が高ゲイン) 16 本を架台に設置 (写真)。各 slat 平均巾 101mm。
 - * 32 本のうち 29 本改造したところで、ライトガイドがシンチより 0.5mm 広く 100.5mm 巾で作ってある事に気がつく。 32 本を CI に渡して修正中。
 - * CAEN HV の動作試験。
 - * (未解決問題：検出器設置後は架台全体はクレーンで移動不可)
- * FDC2 本体
- * 読出ケーブル/PCB の改造後、取付。
 - * 数日間 HV conditioning。
 - * Leak Cur. : ~10-20nA/SuperLayer @2.8kV なので大きな問題は無い。
 - * Ar/C₂H₆による信号試験。一応全チャンネル信号有。Hot wire は無いもよう。ただし ground をちゃんと取れないのでノイズは大きい。
 - * 11/30 (Wed) に、底板取付、回転、キャスター/電磁シールド取付。作業後 terminator を付けて HV 印可：ワイヤー切れはない。
 - * 最後の側面カバー 2 枚は 12/12 の週前半までにそろそろ予定。



読出側 (左)、回転してキャスター/電磁シールドをつけた状態 (右)

- * FDC1 試験
 - * 宇宙線の DAQ が途中で頻繁に止まる。
 - * 症状： Busy は出るがデータが書かれない。
 - * その後、2.65/2.70KV で HV trip はない。
- * 次回作業予定
 - * 12/8 (Thur)-12/9 (Fri) : FDC2 架台設置作業 (小林)
 - * 宿が満杯だったが待ったらキャンセルが出て取れた。
 - * 12/12 の週の約 3 日間 (日程未決定)
 - * FDC2 本体設置+配線準備、(HOD 組立) : 小林、千賀、高橋、増子